

楊品瑜主宰中国茶芸教室

長崎教室

香り高く深い味わいの台湾茶の魅力に触れ、台湾三大銘茶とされる凍頂烏龍茶、包種茶、東方美人茶を飲んでいただく教室を特別開催します。また、伝統的な茶器による淹れ方で受賞茶を飲んでいただく予定です。ぜひのご参加をお待ちしております。

楊品瑜主宰中国茶芸教室は、1993年に日本における中国茶芸文化の普及に共感していただける方々の集いとして始まりました。同時に中国茶芸指導師養成コースをスタートしました。現在は茶文化の交流促進や自宅サロン開業など数多くの指導師が活躍の場を広め、民間交流の場としても定着しています。

○テーマ： 「台湾三大銘茶」

○日時： 8月11日(月)

14時～16時

○場所： メルカつきまち 会議室

(長崎市内)

○参加費： 3,000円

なお、会場の都合により先着16名様となります。定員になり次第締め切らせていただきます。



当日は三等受賞茶を飲んでいただきます

○お申し込み先：(有)リーディングサカイ 楊品瑜(ヤンピンユ)まで

E-Mail: teanet.m83@leading-sakai.co.jp Tel/Fax:047-336-4048

○講師のプロフィール

楊品瑜 1964年台北生まれ。大学で美学美術史を専攻、卒業後に(株)新宿高野に入社。海外事業部に勤務しながら、日本で最初期に茶芸講師も務め、20年目を迎えた。在職中は、当時輸入が難しかった神果とされる「羅漢果」の輸入などを担当した。94年、(有)リーディングサカイを設立。国際交流会・大学・学術講演会などにて中国茶文化の普及活動を行っている。また、指導師を育てる中国茶芸教室や、茶と料理、中国語による中国茶教室も主宰している。99年アジア交流祭にベトナム友好協会より招聘され、04年中華茶文化学会より茶文化の普及に貢献したとして「茶人」に選ばれる。

07年に70年代後半から80年代の台湾の楊家の雰囲気の一部再現した教室開催スペース兼教室会員用サロン「中山之家」をオープンした。日本語、中国語の中国茶に関する著書 多数。

磯永智子 1973年長崎県生まれ。94年栄養士免許取得、病院給食の仕事に就く。00年漢方薬局が中国茶喫茶店を立ち上げるのを機に転職、「楊品瑜主宰中国茶芸教室」会員になる。05年日本茶インストラクターの資格を取得。老舗日本茶舗の店長を経て、独立。現在、日本国内外の茶園巡りをテーマに各地を訪れている。楊品瑜主宰中国茶芸教室所属中国茶芸指導師。